

令和6年度事業報告書

特定非営利活動法人 さがみはら地球温暖化対策協議会

1 事業の成果

- (1) 第2次相模原市地球温暖化対策計画(改定版)の趣旨を踏まえて、日常生活や事業活動の中で取り組める地球温暖化対策について協議し、具体的な活動を実施することにより、「SDGs未来都市」としての相模原市域における地球温暖化対策を推進しました。
- (2) 会員活動による啓発事業の実施により、市民・事業者・地域団体・行政等の連携・協力を更に強めて地球温暖化防止活動に取り組みました。
- (3) 会員の地球温暖化防止活動を推進するため、取り組みの紹介や事業広報等の活動支援を行いました。
- (4) 組織の充実を図るため、会員増加に向けた施策を講じました。また、協議会の3部会間の連携を深めるとともに、会員相互の連携・協力の場づくりを積極的に推進し、さらなる事業の発展を目指して活動を展開しました。
- (5) Zoom、You Tube等のオンラインツールを活用した地球温暖化防止活動を行いました。

2 会議の開催状況

- (1) 理事会 計2回 4月19日(金)・5月1日(水)
- (2) 通常総会 5月28日(火)
- (3) 3部会正副部会長会議 (Zoomを併用しての会議) 計8回
4月10日(水)・6月17日(月)・8月19日(月)・10月11日(金)
11月29日(金)・1月17日(金)・2月17日(月)・3月24日(月)
- (4) 各部会の開催状況 (Zoomを併用しての会議)
 - 広報部会 計6回
5月13日(月)・6月25日(火)・9月10日(火)・10月28日(月)
12月11日(水)・1月20日(月)
 - 対策部会 計9回
4月22日(月)・5月31日(金)・7月2日(火)・8月26日(月)・9月30日(月)
11月15日(金)・12月20日(金)・2月7日(金)・3月17日(月)
 - 調査・研究部会 計9回
4月17日(水)・6月14日(金)・7月30日(火)・9月13日(金)
9月25日(水)・11月6日(水)・12月13日(金)・2月5日(水)・3月5日(水)

3 事業内容

- (1) 特定非営利活動に係る事業
 - ア 地球温暖化の緩和策・適応策に関する広報事業
 - (ア) インターネットを活用した情報発信事業
 - 内 容 ホームページの維持管理およびSNSを活用して地球温暖化防止対策に関する情報や協議会の事業および会員の活動紹介等を行いました。
 - ・ホームページはNPO法人化により協議会の名称に「特定非営利活動(NPO)法人」の加筆と協議会の愛称「アースクールさがみはら」の名称を併記し、定款・役員等名簿を掲載しました。また法人化による情報公開の内容(事業報告・財産目録・貸借対照表・活動計算書等)を次年度に向けて掲載の検討を行いました。

日 時	通年
場 所	ホームページ上
従事者人員	5 人
対 象 者	ホームページ閲覧数 1,700 人
支 出 額	159,500 円

(イ) 協議会の会報等による情報発信事業

内 容 協議会の取り組みや地球温暖化防止に関する情報、会員の活動紹介などを掲載した会報を発行するほか、会員が発行する会報による情報発信も行いました。

また、イベントで会員活動紹介のリーフレットや会報等を配布し、情報発信を行いました。

- ・会報「さがぼ一通信」の発行

年 2 回会報（第 20 号（A4 版）と第 21 号）を発行しました。

市内公共施設に配架するとともに、会員およびイベント参加者等に配布を行いました。

- ・会員が発行する会報による情報発信

- ① 自治会地域情報紙 通常記事 6 回

7 月（地球温暖化講座とイベント開催）

8 月（夏の省エネ対策） 10 月（4R 推進月間食品ロス削減）

11 月（エコドライブ） 1 月（冬の省エネ対策）

3 月（地球温暖化対策）

- ② 自治会地域情報紙 帯記事 1 回

12 月（地球温暖化防止について考え方）

日 時	通年
場 所	事務所
従事者人員	10 人
対 象 者	市民等 2,000 人
支 出 額	181,940 円

(ウ) 協議会の PR グッズの作成および配布事業

内 容 イベントで PR グッズを配布して協議会の事業や会員の活動について理解を求めて市民の地球温暖化防止活動への参加を呼びかけました。

・かんきょうフェア（相模原市民桜まつり内 於：エコパークさがみはら 4 月 6、7 日）、さがみはら環境まつり（於：青山学院大学相模原キャンパス 6 月 23 日）、さがみはら市民活動フェスタ（於：淵野辺公園 10 月 6 日）、相模原 SDGs EXPO（於：アリオ橋本 1 月 25 日）等のイベントで会員活動紹介を行いました。

・さがぼ一くん LINE スタンプ、缶バッジの配布等、子どもや若い世代にも協議会に対する認知度を高めることを目指しました。

・NPO 法人設立記念事業として、更に協議会の認知度を高めることと親しみ易さと好感を持ってもらうために愛称検討委員会と協力して公募で募った協議会の愛称名「アースクールさがみはら」をさがみはら市民活動フェスタ（淵野辺公園 10 月 6 日）で紹介して PR を行いました。

また「アースクールさがみはら」ロゴマーク、協議会の横幕、のぼり旗、タペストリー（さがぼ一くんのイラストとロゴマーク入り壁掛け用の垂れ幕）を作成しました。

- ・協議会の法人化に伴い、協議会の活動内容、SDGsとの連携、3部会（広報部会・対策部会・調査研究部会）事業内容の紹介、第二次相模原市地球温暖化対策計画（改定版）、地球温暖化による未来の日本の現状、相模原市の温暖化傾向を示す経時的気温変動グラフなどを掲載した新しいリーフレットの作成を行いました。
- ・令和7年度版「環境基本計画小学生用啓発冊子」に地球温暖化対策の普及啓発を目的とした出前講座の広告を掲載しました。

日 時 通年
 場 所 イベントや講演会場
 従事者人員 10人
 対 象 者 市民等1,000人
 支 出 額 391,755円

イ 地球温暖化防止や持続可能な社会の構築に関する対策事業

（ア）イベント等への参加による啓発事業

以下の4件のイベントに参加し、地球温暖化対策に関する情報発信、工作などの体験、会員の活動紹介などを行いました。

○かんきょうフェア2024（市民桜まつり内）

日 時 4月6日（土）13時～17時、7日（日）10時～17時
 場 所 エコパークさがみはら
 内 容

- ・会員の活動展示、工作（5団体）
- ・さがぼ一チャンネルの動画投影
- ・さがぼ一くんフォトスポット
- ・さがぼ一くん缶バッジ作り
- ・市役所前さくら通りパレード参加（さがぼ一くん着ぐるみモリヤカーで参加）

 従事者人員 40人
 対 象 者 来場した市民2,000人
 支 出 額 119,700円

○さがみはら環境まつり

日 時 6月23日（日）10時～16時
 場 所 青山学院大学相模原キャンパス
 内 容

- ・地球温暖化の現状の展示、自分にできる行動例とデコ活アクション一覧の掲示
- ・ストップ温暖化のために自分にできることを付箋に書いてボードに貼る体験
- ・電気の仕事体験（手回し発電体験）
- ・チラシ類の配布（温対協紹介・会員募集、さがぼ一チャンネル、温対協愛称募集、会報さがぼ一通信）
- ・さがぼ一くんのステージ参加（開会式・閉会式、ゆるキャラたちと共に「さがぼ一くんの歌～ストップ温暖化マーチ～」のダンスレクチャー）

講座①ソーラークッカーを作ろう！（太陽光発電所ネットワーク PV
 さがみはら）

②ヒンメリふうりんを作ろう！（木もれびの森の花と木々を守る会）

③ソーラーオルゴールを作って鳴らして温暖化防止（NPO法人
 アース・エコ）

従事者人員	20 人	・キャラクターフォトスポット参加 (NPO 法人ナレッジ・リンク)
対象者	来場した市民 300 人	
支出額	58,565 円	

○さがみはら市民活動フェスタ

日 時	10月 6日 (日) 午前 9 時 30 分～午後 2 時 30 分	
場 所	淵野辺公園 中央広場	
内 容		<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人化と愛称決定の掲示、くじ引きの実施 ・地球温暖化の現状の展示、自分にできる行動例の展示 ・電気の仕事体験 (手回し発電体験) ・さがぼーくん LINE スタンプの配布 ・さがぼーくんフォトスポット
従事者人員	11 人	
対象者	来場した市民 200 人	
支出額	43,994 円	

○相模原 SDGs EXPO

日 時	1月 25 日 (土) 10 時 30 分～16 時	
場 所	アリオ橋本 1 階 グランドガーデン	
内 容		<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の現状と自分にできる行動例の展示。自分ができる温暖化対策に 1 人 2 枚シールを貼ってもらい、くじ引き (1 等さがぼーエコバッグまたはさがぼーぬいぐるみ、2 等缶バッジ、3 等地球温暖化○×クイズ付ティッシュ) ができるようにしました。 ・電気の仕事体験 (手回し発電体験)
従事者人員	5 人	
対象者	来場した市民 200 人	
支出額	3,932 円	

(イ) インターネット等を活用した啓発事業

・「さがぼーチャンネル」の運用	インターネット等を活用した以下の事業を実施し、出前講座やイベントなどで活用しました。
・「地球温暖化防止クイズページ」の運用	
場 所	ホームページ上
従事者人員	3 人
対象者	ホームページ閲覧数 1,700 人

(ウ) 省エネ・創エネ施設等の見学会事業

実施日	8月 9 日 (金)	親子バス見学会を実施し、食品ロスの活用や水力発電関連の施設を見学しました。
見学場所	さがみはらバイオガスパワー(株)・(株)日本フードエコロジーセンター、宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館・観光放流	
従事者人員	4 人	
対象者	参加者 11 人	
支出額	107,680 円	

(エ) 学校、公民館、自治会等への地球温暖化に関する出前講座事業

出前講座を 3 回実施しました。	
・星が丘公民館 7 月 31 日 (水) 地球温暖化○×クイズとソーラーランタン工作	

- 参加者 小学生 16 人 スタッフ 3 人
 • 清新公民館 8 月 8 日 (木) ソーラークッカー工作とソーラークッキング
 参加者 小学生 12 人 スタッフ 5 人
 • 二本松子育て広場 11 月 1 日 (金) 地球温暖化○×クイズとソーラーランタン工作
 参加者 親子 4 組 12 人 スタッフ 4 人

また、会員の NPO 法人アース・エコの小学校 2 校への出前講座「ソーラーオルゴールを作つて鳴らして温暖化防止」に協力しました。

- 当麻田小学校 10 月 16 日 (水) 4 年生 2 クラス 45 人
 • 相武台小学校 12 月 10 日 (火) 4 年生 2 クラス 63 人

従事者人員 16 人
 対象者 小学生 144 人
 支出額 59,991 円

(オ) 普及啓発に活用できるツールの作成事業

協議会のキャラクター「さがぼーくん」のぬいぐるみを増産し、出前講座を実施した公民館や小学校に進呈したほか、イベントの景品として活用しました。
 イベントで使用する手回し発電体験ツール「電気の仕事」を製作しました。

従事者人員 16 人
 対象者 200 人
 支出額 81,402 円

(カ) 関係団体、企業、相模原市との連携事業

会員の協力でエコパークさがみはらとの共催事業を実施しました。

○ダンボールソーラークッカー工作教室 (担当: 太陽光発電所ネットワーク PV さがみはら)

実施日 8 月 5 日 (月)
 場所 エコパークさがみはら 学習室・駐車場
 内容 地球温暖化と再生可能エネルギーの話、ソーラークッカー工作、ソーラークッキング (参加者によるカップケーキ作り)
 従事者人員 6 人
 対象者 32 人 (小学生 16 人と保護者)
 支出額 10,791 円

○日産わくわくエコスクール (担当: 日産自動車(株)相模原部品センター)

実施日 7 月 26 日 (金) 午前午後の 2 回実施
 場所 エコパークさがみはら 学習室・駐車場
 内容 地球温暖化と電気自動車、環境・交通安全・未来の車
 従事者人員 10 人
 対象者 56 人 (小学生 28 人と未就学児 4 人と保護者)
 支出額 8,316 円

相模原市との共催事業を実施しました。

○クールシェアさがみはら

実施期間 7 月 1 日 (月) ~10 月 31 日 (木)
 内容 気温が上昇し、エアコンの稼動等で電力需要が高まる夏の日を中心
 に、家庭でのエアコンの使用を控え、市内の公共施設や店舗等の民間施
 設で暑さをしのいだり、イベント等に参加するなど地域で集まって涼
 しく過ごすことで、地域の節電・省エネ効果を高めるクールシェアにつ
 いて「会報さがぼー通信」に掲載して啓発活動を行いました。

従事者人員 10人
対象者 市民等 2,000人

ウ 地球温暖化対策に関する調査・研修事業

(ア) 第2次相模原市地球温暖化対策計画(改定版)に基づく事業の調査研究事業

第2次相模原市地球温暖化対策計画(改定版)に基づく事業として、協議会として取り組むべき事業を検討し、事業実施の可能性についての調査研究を進めました。また、市民・事業者への効果的な普及啓発方法について検討し、協議会の活動に役立てました。

1) 太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーに関する調査・研究事業

内 容 再生可能エネルギーの普及拡大の為の活動

① 自治会館への太陽光発電・蓄電池設置の推進

当協議会が発電シミュレーションなどの協力をして令和5年度に太陽光発電・蓄電池を設置した南橋本自治会から発電データ等をもらい、解析を行いました。途中、データから不具合が判明したので自治会にアドバイスし、設置業者やメーカーに対応してもらい問題解決に至りました。なお、蓄電池テスラのデータを使い、不具合期間の想定値を導き出し、1年分のデータから費用回収の解析をした結果、かなりの年数がかかることがわかりました。今後は経済性ではなく、防災拠点としての設置の重要性をメインにお勧めする方がよいという結論に至りました。自治会長からも今回の設置目的は災害による停電時に、地域の人達が確実に情報の収集や交換ができる場所とすること、また設置後の維持費やパネル・蓄電池等の廃棄処分費についても教えてほしいとの話がありました。太陽光発電・蓄電池のライフサイクルコスト、経年劣化、廃棄課題等の情報収集を継続し、次年度に災害時の活用をメインに自治会向けのPRチラシを作成する準備をしました。

なお、別の自治会から設置希望があり訪問して仕様決めまで進みましたが、予算の関係から1年遅れで実施したいとの連絡がありました。

② ソーラーシェアリングの普及促進

相模原市でブルーベリー農園としてソーラーシェアリングを行っている「さがみこファーム」を訪問し、代表と話をして情報収集をしました。

また、当協議会会員の(株)ジャスパーがソーラーシェアリング事業を始めたので現地視察を申し入れました。視察は未実施ですが、観光農園でなく農作物出荷方式の先進事例として連携をとっています。

③ 市民が取り組める再エネ電気使用方法の発信

電気料金の変動などの環境が安定してきているので、再生可能エネルギーを使うことの意義を強調して太陽光発電の設置や再エネ電気への切り替えをお勧めするPRチラシ作成の準備をしました。

④ 相模原市の公共施設への再エネ導入の拡大に向けて活動

学校施設への太陽光発電設備等導入事業(PPA)について現在の状況をゼロカーボン推進課に問い合わせました。広報できるときには市民に広く知らせる協力をしたいと考えています。

また「ユニディ相模大野店」でソーラーカーポートを設置して店内の電力使用量の20.7%をその発電で賄っているとの情報があり、市有施設の駐車場で同様の取り組みができないかとの意見を受け、自家消費型ソーラーカーポート設置の調査をすることにしました。

日 時 通年
場 所 事務所
従事者人員 12 人
対 象 者 市民、事業者、地域団体、行政等 2,000 人

2) 省エネルギー(温室効果ガス削減)に関する調査・研究事業

内 容 ① 「SDGs さがみはらエコ宣言」の登録推進および集計と分析
SDGs を踏まえながら、事業者が自ら行う省エネ対策等を更に促すことを目的とした「SDGs さがみはらエコ宣言」の登録活動を相模原商工会議所、相模原市と連携し実施しました。登録を行った事業者に対し津久井産材を使用した宣言書を発行しました。また、令和 6 年 3 月までに登録した宣言内容を集計・分析し、事業者の省エネ活動に役立てました。
令和 6 年度新規登録件数：2 件（総登録件数：150 件）
② 「エコアクション 21」普及推進
③ 相模原市が行う「中小企業向け省エネ設備導入支援」への協力

日 時 通年
場 所 事務所
従事者人員 8 人
対 象 者 事業者等 4,000 人
支 出 額 89,650 円

3) 津久井地域等の森林の活用に関する調査・研究事業

内 容 CO₂ 吸收源やバイオマス資源としての森林の有効活用に向け、国の森林環境譲与税、県の水源環境保全税や相模原市の森林資源利活用に関する情報を収集し、課題の整理や市民への啓発活動に活かすための検討を行いました。

- ① バイオマスボイラー、バイオマス発電装置に関する調査・研究
相模原市が実施する「青根緑の休暇村いやしの湯」のボイラー交換に伴い、木質バイオマスボイラーの導入に関する情報を提供しました。相模原市の進捗状況は令和 7 年 3 月業者決定、12 月工事完了試運転、令和 8 年 1 月オープン予定と伺っています。
- ② ナラ枯れに関する調査結果の検討
神奈川県では海岸側から北上してきて今は相模原市がピークの状況です。大木からより細い木に広がっており木材として使用できるうちに使うことが大切です。
- ③ 森林の防災機能に関する調査
適切な土壤環境は地盤を安定させ、土砂崩れや浸食を防ぎます。森林の防災機能として土壤中の水と空気の通り道である水脈が豊富な伏流水域となり土砂崩れや浸食を防ぐ機構が明らかになってきています。
- ④ さがみはら森林ビジョン審議会
3 月 10 日行われたさがみはら森林ビジョン審議会を傍聴し、森林ビジョン実施計画評価結果を確認しました。さがみはら森林ビジョン改定に関し、これまでの課題や水源施策の動き等を踏まえ、改定時期の延期も含め、市内部で検討のうえ、改めてロードマップを作成し作業を進めていくことです。

⑤ 森林グループ主催視察研修と会員研修会の調整

○株式会社市川屋長竹工場の見学

実 施 日 2月 12 日 (水) 午前午後の 2 回実施

場 所 株式会社市川屋長竹工場

内 容 かながわ県産木材の製造一貫生産の工程を見学

従事者人員 4 人

受益対象者 会員 5 人

支 出 額 4,699 円

○映画「杜人（もりびと） 環境再生医 矢野智徳の挑戦」上映会

実 施 日 3月 7 日 (金)

場 所 エコパークさがみはら 学習室

内 容 造園家で環境再生医の矢野智徳を追ったドキュメンタリーの上映を行った。

従事者人員 4 人

対 象 者 会員及び会員の関係者 28 人

支 出 額 36,575 円

(イ) 会員研修・交流会事業

内 容 会員の知識の向上とスキルアップを図り、協議会の地球温暖化防止活動の充実を目的に研修会・視察研修を実施しました。

また、会員間の交流を深める為に、交流会を実施しました。

1) 会員研修・視察研修の実施

○会員研修 (Zoom を併用して実施)

実 施 日 2月 26 日 (水)

場 所 エコパークさがみはら 学習室

内 容 「気候変動に対する影響と適応」

講 師 国立環境研究所 気候変動適応センター

従事者人員 3 人

対 象 者 19 人 (内会員 15 人)

支 出 額 16,805 円

○会員視察研修

実 施 日 1月 29 日 (水)

視 察 場 所 城山発電所

東急建設(株)相模原蓄電所 (東急建設(株)相模原工場内)

東急建設(株)技術研究所

内 容 揚水発電所、東急建設(株)相模原蓄電所・技術研究所 ZEB 改修から再生可能エネルギー や先進的な技術を学びました。

従事者人員 5 人

対 象 者 15 人 (内会員 11 人)

支 出 額 106,500 円

2) 会員交流会の開催

実 施 日 5月 28 日

場 所 相模原市立産業会館 懇談室

内 容 総会終了後に交流会を開催し、会員相互の交流を深めるとともに、団体活動や環境情報に関して情報共有を図りました。

従事者人員 5 人

対 象 者 会員 18 人 (個人、事業者、地域団体、行政)・事務局 2 人

支 出 額 61,380 円 (飲食代は参加者より徴収)

(2) 茅野市地球温暖化対策地域協議会の視察受入

実 施 日 11月22日(金)

場 所 エコパークさがみはら 学習室

内 容 協議会のNPO法人化や事業の説明を行い、質疑応答を通して活発な意見交換を行いました。

従事者人員 7人

対 象 者 茅野市地球温暖化対策地域協議会 11人

支 出 額 7,710円

※費用は管理費 その他経費より支出